

第5期 岩盤動力学に関する研究小委員会の委員公募について

岩盤動力学に関する研究小委員会では、第1期(平成25(2013)年度～平成27(2015)年度)、第2期(平成28(2016)年度～平成30(2018)年度)、第3期(令和元(2019)年度～令和3(2021)年度)、第4期(令和4(2022)年度～令和5(2023)年度)と活動を進めてきました。第1期では、岩盤動力学で検討すべき岩盤力学やその他の分野との関連や既往の研究を整理、第2期では、岩盤動力学の関連分野を確認するとともに2019 Rock Dynamics Summit in Okinawa を主催して開催。第3期では、岩盤動力学の視点から斜面の安定性、振動伝播、発破振動、ダメージゾーンを考慮した断層の扱い等について研究活動を進めて来ました。第4期では、不連続性岩盤斜面の耐震設計手引きの骨子作成、副断層や断層と間隙水との関連、動的試験の数値解析による再現を試みてきました。

本委員会では、第5期(第5フェーズ)の活動をこれまでの活動のある程度継続しつつ実施する事になりました。このために本委員会では新規に委員を公募いたします。

活動期間：2024年7月～2026年6月（2年間）

委員募集：2024年6月

活動体制：委員長 岩田直樹(中電技術コンサルタント株)、幹事 清木隆文(宇都宮大学)、委員は第4フェーズのメンバーに加え、テーマに応じて新規募集

活動内容：斜面耐震WG、断層WG、衝撃WG、遺跡WG（仮称を新設）

- ・第4フェーズの活動成果の更なる深化を目指し、斜面耐震WG、断層WG、衝撃WGは延長。新たに遺跡に関する新たなWGの追加を検討中。
- ・斜面耐震WG：不連続性岩盤斜面の耐震設計の手引きの本文を作成
手引きを作成する上で検討が必要な実験・解析の実施
- ・断層WG：横ずれ地震に対する地表地震断層の発生条件の検討
注水誘発地震発生条件の整理に関する実験とシミュレーションの実施
- ・衝撃WG：計測対象岩盤を再検討し、簡易振動計測による岩盤物性値の推定を目指す
岩石動力学の衝撃載荷を伴う各種問題の数値解析を実施する上での基礎的知見の構築を目指す
- ・遺跡に関する新たなWGの追加を検討中

申込：委員会への新規参加希望者は、お名前、連絡先、委員会活動に期待される事、携われる事等を自由書式で記載のうえ下記まで送付をお願いします。

- ・連絡先：清木 隆文(宇都宮大学、E-mail tseiki@cc.utsunomiya-u.ac.jp、Tel: 028-689-6216)
- ・締切： 2024年6月末